



本学における麻疹対策の継続は 風疹対策につながった

北海道教育大学保健管理センター
羽賀将衛、山崎朋子、
三上麻紀、小野寺千鶴子、
石田かおり、河上靖子

1. はじめに

今年度から、中学1年時に麻しん・風しん第3期定期予防接種を受けた年代が大学に入学してきた。本学では平成21年度からすべての新入学生に対して、①過去に2回以上または最近の麻疹ワクチン接種、または②麻疹抗体検査の結果が陽性、どちらかの証明の提出を求めているが、中学1年時の接種からすでに5年以上が経過しており、接種証明の提出に関して何らかの問題を生じることが懸念された。

2. 対象および方法

平成26年度本学新入学生1,239名のうち、麻しん・風しん第3期定期予防接種対象者(現役生)は1,043名、同第4期対象者(浪人生)は193名、第3期および第4期対象外の者は3名であった。このうち、第3期、第4期対象外の3名を除いた現役生と浪人生1,236名について、麻疹ワクチン接種または抗体検査の証明の提出状況を調査した。

3. 結果

乳幼児期の麻疹ワクチン接種率は、現役生95.3%、浪人生92.7%であった。

現役生の88.7%が第3期定期接種を受けており、平成20年度第3期定期接種の全国平均および北海道の接種率を上回っていた¹⁾。浪人生は85.0%が第4期定期接種を受けており、これも平成24年度第4期定期接種の全国平均および北海道の接種率を上回っていた²⁾。最近のワクチン接種を、第3期、第4期定期接種の対象年齢よりも前に受けていた者は、現役生1.1%、浪人生6.2%であり、現役生は平成19年、浪人生では平成20年が多かった。第3期、第4期定期接種よりも後の期間に接種した者は、現役生の9.0%、浪人生の7.3%であった。このうち、書

類を提出したものの上述の条件を満たしていなかった現役生の1.2%、浪人生の1.6%に対しては、自費によりワクチン接種を受けるように当方から要請したが、これに対する拒否その他のトラブル等は特に認められなかった。最近のワクチン接種がなく抗体陽性の検査結果を提出した者は、現役生0.9%、浪人生1.0%であった(表1)。

現時点まで証明を未提出の者が現役生の0.4%、浪人生の0.5%に残っているが、全体の99.6%が麻疹に対して免疫を有すると推測される状況を得ている。その内訳は、2回以上のワクチン接種が現役生92.6%、浪人生89.1%、1回だが最近のワクチン接種が現役生4.3%、浪人生7.8%、抗体検査陽性による証明は現役生2.7%、浪人生2.6%であった(表2)。

4. 考察

わが国の今年の麻疹報告数は、平成21年以来の多さが続いており³⁾、今後の推移に注意が必要である。

本学では、上述のように平成21年度からすべての新入学生に対して、麻疹ワクチン接種等の証明の提出を求めている。昨年度までの新入学生の場合は、もし書類提出時に条件を満たしていなくても、現役生なら3月末までに第4期定期接種を受けることができ、実際に、本学の合格発表後にMRワクチンを接種した者が9%前後を数え⁴⁾、この中には入学手続後にワクチン接種した者も含まれていた。今年度からは、こうした駆け込みの接種はできず、条件を満たしていない者は自費でワクチン接種を受けるしかなかったが、現役生、浪人生ともに、当方からの要請を拒否した者はなく、とくに問題は生じなかった。第3期定期接種の対象者は、接種からすでに5年以上が経過しており、接種証明の書類を紛失している

表1 新入学生の麻疹ワクチン接種状況

	現役生 (n=1043)	浪人生 (n=193)
乳幼児期のワクチン接種		
あり	95.3%	92.7%
なし	4.7%	7.3%
最近の麻疹ワクチン接種		
なし(証明未提出)	0.4%	0.5%
第3期/第4期定期接種よりも前	1.1%	6.2%
第3期または第4期定期接種	88.7%	85.0%
第3期/第4期定期接種よりも後	9.0%	7.3%
(うち入学手続後に接種)	(1.2%)	(1.6%)
なし(抗体陽性の検査結果を提出)	0.9%	1.0%

(現役生：麻しん第3期定期予防接種対象者)

(浪人生：麻しん第4期定期予防接種対象者)

表2 麻疹に対して免疫を有すると推測する根拠

	現役生 (n=1043)	浪人生 (n=193)
2回以上の麻疹ワクチン接種	92.6%	89.1%
1回だが最近のワクチン接種	4.3%	7.8%
抗体陽性	2.7%	2.6%
なし・不明	0.4%	0.5%

(現役生：麻しん第3期定期予防接種対象者)

(浪人生：麻しん第4期定期予防接種対象者)

者もいたが、多くは母子手帳の記録により接種が証明された。

麻疹のワクチン接種等の証明は、入学手続の際に提出する「健康アンケート」に書類を添付することになっている。この健康アンケートには、麻疹の他に風疹、水痘、流行性耳下腺炎についても、ワクチン接種歴や罹患歴を記載するようになっているが、大半は母子手帳のコピーが添付されており、記載内容と照合させることができる。

昨年、全国で風疹の大流行が発生したが、本学の学生は97～99%が麻しん風しん第4期定期予防接種としてMRワクチンを接種していたことにより⁹⁾、8割以上の者が風疹ワクチンを幼少期の接種と合わせて2回以上接種しており、未接種の者は1割未満であった。そのため、昨年の風疹の大流行に際しても、本学では特に対策を講じる必要がなかった。こうした風疹に対する免疫保有状況は、今年度の新入学生においても同様である(表3)。学校・大学における感染症の集団発生・流行は、児童・生徒・学生の健康を害するだけでなく、行事予定の変更や中止を余儀なくされることもあり、学校運営上も重大な問題である。昨年の本学において、麻疹対策が図らずも風疹対策につながったが、入学前にワクチン接種の証明の提出を求めるという対策を多くの学校・大学が取ることにより、社会全体がワクチン接種について関心を持つようになり、免疫の保有率を上げることとも期待できると考えられる。

表3 風疹ワクチン接種歴

2回以上	990	80.1%
1回 (うち最近ではなく幼少期)	217 (6)	17.6% (0.5%)
0回または不明	29	2.3%

5. 結 語

第4期定期予防接種の対象者と同様に、第3期の対象者に対しても、接種証明の提出を求めることで問題は生じなかった。

本学では、平成21年度以降、新入学生のほぼ全員が麻疹および風疹に対して免疫を有すると推測される状況が維持されており、少なくとも集団発生の恐れはないと考えられる。

麻疹ワクチン接種の証明の提出を求めることは、風疹など他疾患に対する関心や免疫の保有率を上げることにもつながると期待される。

文 献

- 1) 厚生労働省. 平成20年度麻しん風しん予防接種(第1期～第4期)実施状況.
- 2) 厚生労働省. 平成24年度麻しん風しん予防接種(第1期～第4期)実施状況.
- 3) 国立感染症研究所. 麻疹発生動向調査. IDWR(感染症週報) 2014年第25週.
- 4) 羽賀将衛、山崎朋子、三上麻紀、他. 大学における麻疹対策の今後の課題. 北海道医報. 2013;1139:22-23.

北海道医報ファイルについて

北海道医報本誌を1年分綴ることができるファイルを用意しております。

ご希望の方に無償にてお送りいたしますので、下記まで送付先ならびに希望数をご連絡ください。

記

申込先：北海道医師会事業第一課

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目

TEL 011-231-7661 FAX 011-252-3233

E-mail ihou@m.douji.jp

